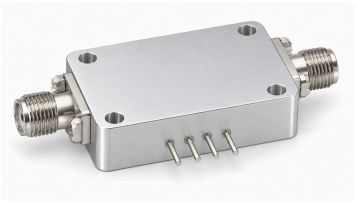
2–18 GHz、10 W CW反射型SPST RFスイッチ



LCSPST-2000-18000-10は反射型SPST構成で2–18 GHzのRF経路を開閉します。挿入損失は≤2.3 dB、アイソレーションは≥30 dB、VSWRは≤2.0:1、切替速度は≤500 nsです。

J0とJ1はSMAメスで、特性インピーダンスは50 Ω、制御は標準TTLです。正電源は+5 V・150 mA、別系統の負電源は−28 V・50 mAです。最大入力は10 W CW、動作温度と保存温度はいずれも−55–+85 °Cです。

RFスイッチ仕様

項目	値	単位
動作周波数	2–18	GHz
スイッチ構成	SPST (反射型)	-
挿入損失	≤2.3	dB
VSWR	≤2.0:1	-
アイソレーション	≥30	dB
特性インピーダンス	50	Ω
最大入力電力	10 (CW)	W
切替速度	≤500	ns
制御ロジック	標準TTLロジック	-

正負電源と制御

項目	値
正電源	+5 V / 150 mA
負電源	−28 V / 50 mA
制御インターフェース	標準TTLロジック

環境仕様

項目	値	単位
動作温度	−55–+85	°C
保存温度	−55–+85	°C

RFインターフェース

インターフェース	仕様
RFポート J0	SMAメス (RFポート)
RFポート J1	SMAメス (RFポート)

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。